

平成30年12月13日

筑紫野市議会
議長 横尾 秋洋 様

文教福祉常任委員会
委員長 鹿島 康生

平成30年度 文教福祉常任委員会行政視察研修報告書

文教福祉常任委員会行政視察研修について、下記のとおり報告します。

記

1. 視察日

平成30年10月 9日（火）から11日（木） 2泊3日

2. 視察先及び研修項目

新潟県 燕市 幼保連携型認定こども園「燕こども園」について

10月 9日（火）

新潟県三条市 市民総合窓口のワンストップサービスについて

10月10日（水）

新潟県長岡市 多世代健康まちづくり事業について、タニタカフェ

10月11日（木）

3. 視察者

委員 鹿島委員長、原口副委員長、上村委員、下成委員
阿部委員、宮崎委員、古賀委員

執行部 檜木健康福祉部長

随 行 中村議事課主任

4. 内 容 別添のとおり

新潟県 燕市

視察日 平成 30 年 10 月 9 日

説明者 燕市教育委員会子育て支援課 課長白井様

説明者 燕市教育委員会燕こども園園長 皆川様

【燕市の概要】

燕市は越後平野のほぼ中央、県都新潟市と長岡市の間に位置し信濃川の分流である中ノ口川、西川に沿って形成されている。北陸自動車道三条燕 IC、上越新幹線三条駅といった高速交通機関があり交通網が充実している。そして県下有数の工業地帯であり、金属洋食器、金属ハウスウエア製品は国内の主要産地となっている。また良寛ゆかりの地でもあり、日本桜の名所 100 選の地大河津分水で行われる豪華絢爛な「おいらん道中」は有名である。

燕市：人口 80,091 人、面積 110,96 km²（平成 30 年 3 月 31 日現在）

議員定数 24 人

【視察目的】

本市に幼保連携型のこども園はないが、燕市では幼稚園と保育園の同年齢児が同じクラスで、一緒に活動できる共通時間を設けて教育、保育を行うとともに、地域の子育て支援を行っている。その取組について様々なメリット、デメリットを見聞き今後常任委員会の活動として参考とするため。

【質問事項】

- 1、保育所と幼稚園の趣旨の違い（きょうだいがいる場合の保育時間の違い・保護者の就労状況の違い等）や文科省と厚労省の所管の違いなどの問題があるが、「認定こども園」設立時の問題点解消についてご教示ください。
 - A. 燕保育園は建築後 41 年、燕西幼稚園は建築後 37 年が経過していることから、燕保育園の園舎を増築・改修して二つの園を統合し新しく幼保連携型のこども園を開園された。開園当初は保育士や保護者の方でも戸惑いがあったが、兄弟でのそれぞれ別の教室であっても、なかよし集合では 3, 4, 5 歳児が 3 人グループを作ってゲームなど集団遊びを行うことで、子どもたちでできることは行える場を提供することで年月を経ることにより良好な環境が整ってきた。
職員の現状も無理のないよう、子どもたちでできることはそれぞれの対応も話し合いを持たせ、解決をしていっている。
- 2、幼保一体化をする前と、一体化をした後でどのように園が変わり、どのような効果がありましたか。
 - A. 兄弟園児がばらばらでは親ごさんが預ける事に様々（送り迎え等）大変な部分があったが、同一園に入れることで解消。問い合わせや、実際見学をされる方が増えている。

3、マンパワー不足が問題となっている中、支援員の確保にはどのような苦勞がありましたか。

A、保育士不足は燕市も同様であるが、潜在保育士等の人材バンク（現状 17 名）制度を設置しており、効果を上げている。またハローワークにも働きかけをしている。

4、給食について、2号認定の子どもは週5日給食で「保育園としてのこども園の利用」のため市から補助が出ており、主食分のみの負担だと思われます。1号認定の子どもにはこうした補助が受けられず、週3日の給食を提供していると思われますが、1、2、3、号認定の給食の提供についてどのように行なっているかご教示ください。

A、1号認定—2,3号認定の区分については800円（実費）頂いている、2、3号認定は保育料として頂いている。

【質疑応答】

Q：130の定数に対して定員人数はありますか。

A：現在少しずつ増えている。5歳児、1号認定27名のうち9名。1号さんは2時30分迄（親ごさんが迎えに来る）

Q：幼稚園、保育士の人事異動での障害は。

A：最初から両方資格を持った人を採用している。

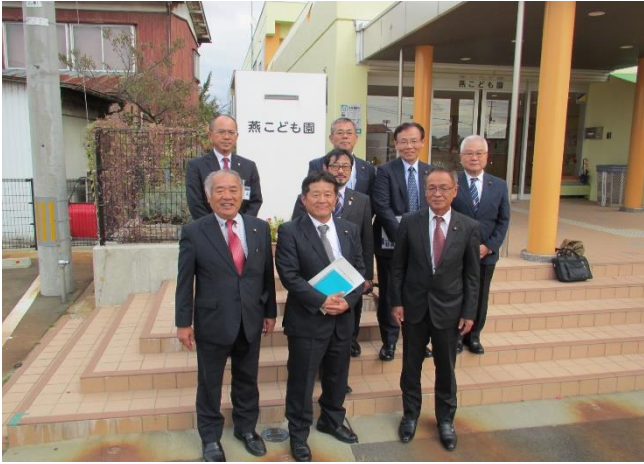
Q：こども園ができる前は子育て支援課（教育委員会）はあったのか。

A：平成18年合併が行われたと同時に認定こども園ができた。

【まとめ】

様々な苦勞や問題があり続ける中で、皆川園長さんが説明をされる姿を見るに付け園児たちの自主性を（生活のリズム・集中力、郷土を愛する心、心豊かなつばめっ子）養い3の自立（学び・生活・心）育んでおられることに大いに共感を得た。それはあくまで子どもたちが月/2回ではあるが3・4・5歳児がグループを作り集団遊びを楽しんでいることからしいてはいじめもなくなるのだと思いました。

【研修状況写真】



燕こども園



研修風景



給食



体育館



こども園内子育て支援センター



燕市役所

新潟県 三条市

視察日 平成30年10月10日

説明者 三条市民部市民窓口課

課長 坂内 紀美子様

【三条市の概要】

三条市の中心には、東西に五十嵐川が流れ、市西部で南北に流れる信濃川と合流する。また笠堀地区は、国の特別天然記念物であるニホンカモシカの生息地として知られる。

県下有数の工業都市。市域の大部分が旧南蒲原郡の町村から成り、新潟県の中越地方に分類されるが、後述の自動車ナンバープレート等に見られる様に下越地方に含まれる場合もある。近年では「県央地域」の呼び名が一般的となっており、隣接する燕市や加茂市、田上市、弥彦村などから成る同地域の中心都市となっている。

三条市：人口 98,431人、面積 432km²（平成30年8月末）
議員定数 22人

【視察目的】

本市は、新庁舎への移設と併せ、市民総合窓口のワンストップサービスの導入が計画されている。とりわけ、福祉、子育てでの利用者の利便性の向上を図るための参考とするため行政視察を行ってきました。

【質問事項】

- 行政窓口のワンストップサービスは、利用者にとっての利便性を考えると必要なサービスだと思います。健康な市民にとっては、時短にもなり利用しやすく便利だと思いますが、複数の手続きを要する身障者や心疾患を患っている市民への対応は、どのように行っているのかご教示ください。
A. 障害のある車いすの対応は、保健師が行っている。
- ワンストップ窓口を開始されて、パブリックコメントやホームページでのコメント等、市民の反応はありましたかご教示ください。
A. 開始後、大きな苦情はない。良いも悪いも反応はない。
- 申請・交付前や証明手続きなどワンストップでスムーズに行なわれていますが、その時に必要な身分証明になるマイナンバーカードの発行数、発行率はどのようになっていますかご教示ください。
A. マイナンバーカードの発行率は、10.3%。

4. 社会問題となっている「生活困窮者自立支援法」における必須（業務）事業である「支援プランをつくる相談窓口」の設置や任意事業に示されている「子どもの学習支援」そして、税や保険料、公共料金の滞納など家計収支に関する課題解決のための「家計相談」に連携されているのでしょうか、ご教示ください。

A. 市民なんでも相談室の設置と市民課、福祉課と連携。

【質疑応答】

Q：所管と総合窓口との連携の難しさは。再任用職員の活用は。

A：難しさはあるが、ワンストップもいろいろやり方がある。市民窓口課が中心になって業務をこなしている。

Q：三条市は、筑紫野の5.2倍の面積があるが、サービスセンターが2箇所、足の悪い人や高齢者が窓口に行きつけるのか。

A：庁舎に来られない人は、旧役場に行っていると思う。

Q：平成20年の総合窓口導入時の発券機から平成23年のワンストップ開始の発券機はどうなったのか。

A：機械の大きな変更はない。

Q：制度や市民サービスに職員の魂を入れるには。

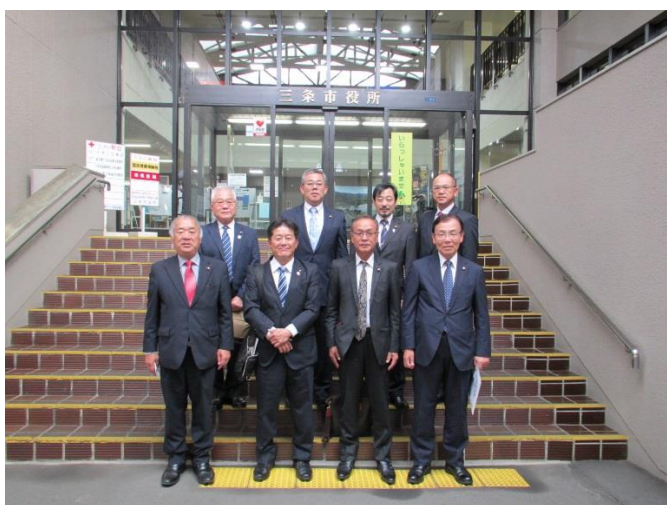
A：市民満足度を意識する。三条市には、市役所品質という行動規範をもっている。朝礼で唱和を行っている。

【まとめ】

三条市のワンストップサービスは、平成19年に検討チームを設置して、平成20年に総合窓口を導入。平成23年にワンストップの開始。毎年度、業務と職員数を見直し、深化を続ける総合窓口として事業をすすめている。

本市においては、平成31年1月より新庁舎に移設して、さっそく、総合窓口の運営が始まるが、三条市の経験を学んで市民が利用しやすい、喜ばれる市役所へと深化するよう議会の立場から行政と切磋琢磨することが求められることを理解した。

【状況写真】



(三条市役所玄関)



(市役所入り口 案内板)



(説明、質疑、応答)



(市民窓口課 発券機)

新潟県 長岡市

視察日 平成30年10月11日

説明者 福祉保険部福祉総務課課長補佐 阿部 雅之 様
説明者 福祉保険部福祉総務課 主査 小川 裕 様

【長岡市の概要】

長岡市：人口272,016人、面積891,06km²（平成30年6月1日現在）
議員定数 34人

【視察目的】

全国的に高齢化の進行に伴う介護や生活習慣病の予防が大きな課題となっている中、本日視察させて頂いた長岡市では、健康な生活習慣を幼少から身につけ青年期・壮年期の生活習慣病のリスクを軽減し、高齢者の介護予防に取り組むことで、健康寿命の延伸を図っている。内閣府の「特定地域再生事業補助金」を活用しながら、大学・民間企業・自治体の3者が組んで、健康・医療・福祉分野における地方都市での事業展開を検討、その具体的な検討体制を参考とするため。

【質問事項】

(1) 国の補助金を活用して産学官が連携し「多世代健康モデル研究会」を立ち上げたときのノウハウについて

解答：平成25年に一般社団法人中野秀光理事長を中心に慶応義塾大学・地元商工会議所・スポーツ協会と長岡市との共同による産学官連携で検討。特に中野理事長のリーダーシップ下「多世代健康まちづくりプラン」策定、国の補助金84000千円を受け、平成26年11月2日（日）多世代健康づくりの拠点整備としてタニタカフェをオープンしました。

(2) 「食事」についての健康づくりは「タニタ」さんで実施できると思いますが、「運動」や「休養」を実践するための連携はどのようにされているのかについて

解答：タニタ健康クラブで継続して取り組める健康づくりの機会提供を行っている。平成26年9月から会員向けの健康づくりセミナーを実施。具体的にはウォーキングレッスン、食育講座、タニタ弁当の会食など「運動」「食事」「休養」をバランスよく実践でき、楽しみながら取り組めるメニューを取り揃えている。

(3) 糖尿病など、特定の病気の重症化を防ぐための具体的な健康づくりの取組について

解答：タニタカフェ内に健康相談コーナーを開設して、体組成計で健康度をチェックし、管理栄養士等がアドバイスを行っている。また、市から健康情報発信を行なっている。

(4) 生活習慣を幼少期から身につけ、青年期、壮年期を過ごすことで介護予防を図る取り組みは、とても有効だと思います。とりわけ、大学・民間企業・自治体の3者で、健康・医療・福祉における事業展開を検討することは、魅力を感じます。実際に民間のマネジメントを用いた事業でのメリットデメリットは、どういったことがあるのかについて

解答：慶応大学・地元団体・長岡市が多世代健康事業モデル研究会を設立し、それぞれが分野からのご意見をいただき、検討を重ねてくることができた。結果、多世代健康づくりの拠点整備・健康拠点づくりプログラムが実施できた。

【質疑応答】

Q：タニタカフェを利用する場合は会員でなければ利用できないのか。また会員は男性女性どちらが多いのか。

A：食事など利用される場合は会員でなければならない。女性の方が会員数は多い。

Q：この事業を実施して健康面での実績が上がっているのか。

A：個人情報の問題などで正確なデータが取れない。今後の課題である。

Q：この事業をするにあたって地元の商工会や事業所から民業圧迫などのトラブルはなかったのか。

A：立ち上げるにあたってそこは充分検討した、たとえば競合にならないように食事も軽食を中心としたメニューにするなど地元の事業者の皆さんに配慮した。特に大きな問題はなかった。

Q：国からの補助金などこの事業が短期間で実現できたのはどなたか強いリーダーシップとられた方がいたのか。

A：慶応大学や民間企業・地元団体との協働による産学官連携で研究会を立ち上げそれぞれの方々が多世代健康づくりの拠点整備として取り組まれた。官僚出身の長岡市長の影響もあったかもしれない。

【まとめ】

長岡市では高齢化の進行に伴う介護や生活習慣病の予防が大きな課題であり、内閣府の「特定地域再生事業補助金」を活用しながら、大学・民間企業・自治体の3者が組んで、健康・医療・福祉分野における地方都市での事業展開を検討し、長岡市多世代健康まちづくり事業プランに基づき、国補助金を受け、健康拠点づくりプログラムとして（タニタカフェ）実施している。筑紫野市に於いても高齢化・生活習慣病などの課題は同じである。当市では健康推進のための事業は行政主導で行われているものの、民間との連携はなく、福祉問題についてはさまざまな民間事業者との幅広い連携、行政の他分野施策との連携が必要になってくると思われる。

【状況写真】



(長岡市 議場)



(説明、質疑、応答)



(タニタカフェ 外観)



(店内見学)